The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	Riddles の認知的考察
Author(s)	三原, 京
Citation	Osaka Literary Review. 1995, 34, p. 123-133
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/25430
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

Riddles の認知的考察

三原　京

1. はじめに

日本語になぞなぞがあるように英語にも riddles が存在するが、日本人は英語のなぞなぞを英米人と同じように理解できるのだろうか。これを調べるために英語のなぞなぞの興味深さについて、大学生49人（男子16人、女子33人）にアンケート調査を行なった。調査に使ったなぞなぞは全部で30例（本論文末の付録参照）で、次のように6つのカテゴリーに分類できる。

第一に、(1)～(5) はアルファベットのなぞなぞである。例えば、(1) を見てみよう。ここでは「暗やみ」という意味の "darkness" に アルファベットの文字 A が含まれていることがポイントである。

(1) "When is the letter A hard to find?" "When it's in darkness."

第二に (6)～(10) は異分析のなぞなぞである。(6) を見てみよう。ここでは "hand" とは何の関係もない "handsome" という単語が異分析されている。

(6) "What is a hand that's good-looking?" "Handsome."

第三に、(11)～(15) は多義語・同音異義語のなぞなぞである。例えば (11) では多義語 "hard" が「かたい」と「難しい」という二つの意味を持っている。

(11) "What is the only thing harder than a diamond?"
"Making the payments on it."

第四に、(16)～(20) は発音のなぞなぞである。例えば (20) は "the *sand which is* there" が "the *sandwiches* there" の発音に似ていることを利用している。

(20) "Why should no man starve on the deserts?" "Because of the sand which is there."

第五に、(21)～(25) はイディオムのなぞなぞである。(21) では「首になる」というイディオム "get the sack" が、文字通り「袋を手に入れる」という意味にとられている。

(21) "Who gets the sack every time he goes to work?" "The postman."

そして第六に、(26)～(30) はその他のなぞなぞで、(26)(27) は文化が関与しているが、(28)～(30) は、言語も文化も関与していない。(26) は、英語文化圏では、椅子に座っているときに誰かが入ってくると、男の人は立ち上がって握手するが、女の人は座ったままで手を差し出すということを知らないと理解できない。(27) も12インチは1フィートということを知らなければ理解できない。(28)～(30) は日本語に直訳しても差し支えない。

(26) "What does a man do standing up, a woman sitting down, and a dog on three legs?" "Shake hands."
(27) "Why are a giant's fingers always eleven inches long?" "If they were an inch longer each would be a foot."
(28) "Why did they bury Washington on a hill?" "Because he was dead."

ただし、すべてのなぞなぞには直訳の日本語を付けてある。そしてこれらのなぞなぞを「とても興味深い」と思えば5、「かなり興味深い」と思えば4、「やや興味深い」と思えば3、「あまり興味深くない」と思えば2、「全然興味深くない」と思えば1をつけてもらった。被験者の大学生は全員大阪大学

文学部の学生（２回生～４回生）で、回答時間は50分程度である。集計にあたっては、評価番号（１２３４５）とそれを選んだ人数を掛け、それを全体の人数（49人）で割って、平均点を出した。無回答のものは評価０と考えて算出した。なお、英米人22人と高校生41人にもアンケート調査を行なったが、要領は大学生と同じである。

この小論のねらいは、どういう英語のなぞなぞが日本人にとっておもしろいのか、またそれは英米人と同じなのかどうかを明らかにすることである。この調査では、日本人は英米人と同じようには理解できないことが明らかになる。また、その他のなぞなぞ(特に日本語に直訳しても意味が通じる（28)～(30)）が意外に人気がない。 そして、異分析、多義語・同音異義語、イディオムのなぞなぞは、原則として使用されている英単語になじみがあれば興味をそそることが明らかになり、アルファベットのなぞなぞは原則としてその文字が単語の最初か最後のわかりやすい位置にあれば興味をそそることが明らかになる。発音のなぞなぞの場合は、発音の類似性がわかりやすいかどうかは興味深さと全く関係がない。

2. 集計結果

大学生の集計結果（各評価番号を選んだ人数と平均点）は、次の通りである。

	1	2	3	4	5	無	平均
(1)	19	17	5	6	2	0	2.08
(2)	15	11	9	9	5	0	2.55
(3)	11	10	17	8	3	0	2.63
(4)	7	9	10	19	4	0	3.08
(5)	6	6	16	12	8	1	3.14

	1	2	3	4	5	無	平均
(16)	14	13	9	7	6	0	2.55
(17)	16	13	11	6	3	0	2.33
(18)	10	16	12	6	5	0	2.59
(19)	4	6	12	11	16	0	3.59
(20)	10	7	9	10	13	0	3.18

	1	2	3	4	5	無	平均
(6)	8	14	12	11	4	0	2.78
(7)	14	11	13	7	4	0	2.51
(8)	8	11	10	13	7	0	3.00
(9)	7	10	14	10	8	0	3.04
(10)	5	14	10	14	5	1	2.94

	1	2	3	4	5	無	平均
(21)	7	17	11	6	8	0	2.82
(22)	3	6	11	14	15	0	3.65
(23)	4	7	6	21	11	0	3.57
(24)	9	12	12	6	10	0	2.92
(25)	9	4	16	12	8	0	3.12

	1	2	3	4	5	無	平均
(11)	4	5	5	18	17	0	3.80
(12)	5	13	11	12	8	0	3.10
(13)	7	5	9	15	13	0	3.45
(14)	3	9	8	18	11	0	3.51
(15)	10	9	12	11	7	0	2.92

	1	2	3	4	5	無	平均
(26)	16	16	6	7	4	0	2.33
(27)	12	9	5	13	10	0	3.00
(28)	14	13	12	5	5	0	2.47
(29)	13	9	10	10	7	0	2.78
(30)	4	8	12	11	14	0	3.47

ジャンル別平均点

(1)〜(5)　（アルファベット）：2.70

(6)〜(10)　（異分析）：2.85

(11)〜(15)　（多義語・同音異義語）：3.36

(16)〜(20)　（発音）：2.85

(21)〜(25)　（イディオム）：3.22

(26)〜(30)　（その他）：2.81

総合平均点：2.96

ジャンル別に見て最も人気があったのが、多義語・同音異義語のなぞなぞで、最も人気がなかったのがアルファベットのなぞなぞである。その他のなぞなぞは二番目に人気がない（特に言語も文化も関与しない（28）は、2.47と比較的低い数値が出ている）。

英米人の集計結果は、次の通りである。

	1	2	3	4	5	無	平均
(1)	5	8	3	4	2	0	2.55
(2)	2	8	3	6	3	0	3.00
(3)	5	4	8	3	2	0	2.68
(4)	4	9	3	4	2	0	2.59
(5)	4	7	2	7	2	0	2.82

	1	2	3	4	5	無	平均
(16)	3	4	6	4	5	0	3.18
(17)	5	4	4	7	2	0	2.86
(18)	5	7	5	3	2	0	2.55
(19)	8	5	3	3	3	0	2.45
(20)	7	6	6	1	2	0	2.32

	1	2	3	4	5	無	平均
(6)	12	4	4	1	1	0	1.86
(7)	6	7	6	2	1	0	2.32
(8)	2	5	5	6	4	0	3.23
(9)	2	8	5	3	4	0	2.95
(10)	2	9	5	3	3	0	2.82

	1	2	3	4	5	無	平均
(21)	3	4	7	4	4	0	3.09
(22)	5	4	5	6	2	0	2.82
(23)	4	5	5	5	3	0	2.91
(24)	4	7	6	4	1	0	2.59
(25)	6	5	5	3	3	0	2.64

	1	2	3	4	5	無	平均
(11)	2	3	6	7	4	0	3.36
(12)	3	7	8	2	2	0	2.68
(13)	6	7	5	3	1	0	2.36
(14)	4	7	4	4	3	0	2.77
(15)	5	7	6	3	1	0	2.45

	1	2	3	4	5	無	平均
(26)	4	6	6	3	3	0	2.77
(27)	3	5	7	5	2	0	2.91
(28)	7	4	4	5	2	0	2.59
(29)	6	7	3	4	2	0	2.50
(30)	3	7	5	4	3	0	2.86

ジャンル別平均点

(1)～(5)　（アルファベット）：2.73

(6)～(10)　（異分析）：2.64

(11)～(15)　（多義語・同音異義語）：2.72

(16)～(20)　（発音）：2.67

(21)～(25)　（イディオム）：2.81

(26)〜(30)（その他）：2.73

総合平均点：2.72

ジャンル別に見て最も人気があったのがイディオムのなぞなぞで、最も人気がなかったのが異分析のなぞなぞである。日本人に最も人気があった多義語・同音異義語のなぞなぞと、最も人気がなかったアルファベットのなぞなぞは、いずれも中位の人気である。

3. 集計結果から考えられること

3.1. アルファベットのなぞなぞ

(1) が5つの中で最も人気がなく、(4)(5) に人気がある。(1) と (4)(5) の違いは、文字の位置である。

(1) "When is the letter A hard to find?" "When it's in darkness."
(4) "What changes a lad into a lady?" "The letter Y."
(5) "What comes once in a minute, once in a month, but never in a hundred years?" "The letter M."

したがって問題の文字が (1) のように単語の中央部にあると人気がなく、(4)(5) のように単語の最初か最後にあると人気があると言える。なお、日本人には (5) が一番人気があったのに対し、英米人には (2) が一番人気がある。(2) も問題の文字は単語の最初にあるが、日本人にはあまり人気がない。

(2) "Why is the letter B like fire?" "Because it makes oil boil."

3.2. 異分析のなぞなぞ

(7) が5つの中で最も人気がない。このアンケートの後、別にアンケート調査を行なったところ、(7) の "mistletoe" の意味を正確に知っていたのは49人中わずか1人だけであった。その他の4つ（(6) の "handsome"、

(8) の “mushroom”、(9) の “timetable”、(10) の “doughnut”) は、いずれも日本人によく知られている単語である。したがって、原則として問題の単語がなじみのないものであれば人気がなく、なじみのあるものであれば人気があると言える。

3.3. 多義語・同音異義語のなぞなぞ

(15) が5つの中で最も人気がなかった。これも後のアンケートで “page” の二つの意味を知っているのは49人中7人しかいないことがわかった。他は (11) の “hard” は49人、(12) の “hot” は43人、(13) の “left” は49人、(14) の “drop” は48人と、いずれも40人以上の人が知っている。この結果から、(12) が (15) の次に人気がないことも注目に値する。したがって、ここでも原則として問題の単語がなじみのないものであれば人気がないと言える。

3.4. 発音のなぞなぞ

発音の類似性が明白かどうかは、おもしろさと全く関係がない。(16) の “no body” と “nobody”、(17) の “car nation” と “carnation” の方が、(18) の “two lips” と “tulips”、(19) の “sell fish” と “selfish”、(20) の “sand which is” と “sandwiches” よりも発音の類似性が明白である。しかし平均点は、(16) が2.55、(17) が2.33、(18) が2.59、(19) が3.59、(20) が3.18となっており、(16)(17) が人気がない。ただし英米人の場合は (16) が3.18、(17) が2.86、(18) が2.55、(19) が2.45、(20) が2.32で、発音の類似性が明白な (16)(17) に人気があるという、日本人とは全く違う結果が出ている。

3.5. イディオムのなぞなぞ

(22) が一番人気があり、(21) が一番人気がない。これも後のアンケートで、(22) の “It rains cats and dogs.” の意味は49人中42人が知っている

のに対し、(21) の "get the sack" の意味を正確に知っているのは1人だけであることがわかった。(23) の "get in one's hair" は1人しか知らないのに二番目に人気があるという例外もあるが、29人しか知らない (24) よりも32人が知っている (25) の方が人気がある。したがって、原則として問題のイディオムがなじみのあるものであれば人気があり、なじみのないものであれば人気がないと言える。

3.6. その他のなぞなぞ

ここでは、言語も文化も関与しないということが人気に結びつくわけではない。(26)(27) のみ文化が関与しているのだが、大学生には (26) が2.33、(27) が3.00、(28) が2.47、(29) が2.78、(30) が3.47で、(27)(30) に人気があるという結果が出た。英米人の場合も (26) が2.77、(27) が2.91、(28) が2.59、(29) が2.50、(30) が2.86で、(27)(30) に人気がある。したがって、ここでは、そのなぞなぞのおもしろさ自体が重要だと言える[1]。

4. まとめ

この調査結果から、日本人は英米人と同じように英語の riddles を理解できるわけではないと言える。アルファベットのなぞなぞと発音のなぞなぞから、それがうかがわれる。また英語力も多少関与すると言える。異分析のなぞなぞ、多義語・同音異義語のなぞなぞ、イディオムのなぞなぞにおいてはその単語がなじみのあるものかどうかが重要だからである。しかし、言語も文化も関与しないなぞなぞに人気があるとは限らない。したがって日本人も、ある程度は原文のなぞなぞのおもしろさを理解できると言えるだろう。

注

1. ただし、高校生41人(全員甲南女子高校の2年生)に同じアンケート調査を行なったところ、その他のなぞなぞがジャンル別に見て1位 (3.01)であった。内訳も、(26) が2.59、(27) が2.63、(28) が2.71 (29) が3.37、(30) が3.76となってお

り、言語も文化も関与しない（28)～(30）に人気があった。なお各ジャンル別平均点は、アルファベットのなぞなぞが2.28、異分析のなぞなぞが2.96、多義語・同音異義語のなぞなぞが2.92、発音のなぞなぞが2.52、イディオムのなぞなぞが2.72である。

参考文献

Hassett, J. (1978) "What's So Funny?" *Psychology Today* 12, 100-113.
Hassett, J. and J. Houlihan (1979) "Different Jokes for Different Folks," *Psychology Today* 12, 64-71.
杉田敏（1990)『アメリカン・ジョークの世界』ジャパンタイムズ。

出典

郡司利男（1982)『英語ユーモア講座』創元社。
中村保男（1987)『英語なぞなぞ集』岩波ジュニア新書。
須沼吉太郎（1993)『ユーモラス・イングリッシュ』秀英書房。

付録：「調査に使ったアンケート」

ここに英語のなぞなぞが30あります。これらのなぞなぞの興味深さについて５段階評価をしてください。「とても興味深い」と思えば５、「かなり興味深い」と思えば４、「やや興味深い」と思えば３、「あまり興味深くない」と思えば２、「全然興味深くない」と思えば１をつけてください。なお日本語訳は直訳にしてあるため参考程度にして、できるだけ英語の原文の方を見て評価してください。

Here are 30 English riddles. Would you evaluate these riddles? If you find it very interesting, please mark 5. If you find it rather interesting, please mark 4. If you find it somewhat interesting, please mark 3. If you find it slightly interesting, please mark 2. And if you find it not at all interesting, please mark 1.

1. "When is the letter A hard to find?" "When it's in darkness."「文字Aが見つけにくいときは」「暗やみにあるとき」　1 2 3 4 5
2. "Why is the letter B like fire?" "Because it makes oil boil."「文字Bが火に似ているのは」「油を沸騰させるから」　1 2 3 4 5
3. "Why is the letter E the busiest letter?" "Because it takes part in everything twice."「Eが１番忙しい文字なのは」「すべてのものに二度ずつ参加するから」　1 2 3 4 5
4. "What changes a lad into a lady?" "The letter Y."「若者を淑女に変えるものは」「文字Y」　1 2 3 4 5

5. "What comes once in a minute, once in a month, but never in a hundred years?" "The letter M."「1分に1回、1ヵ月に1回現われるのに、100年に1回も現われないものは」「文字 M」 1 2 3 4 5
6. "What is a hand that's good-looking?" "Handsome."「みめうるわしい手は」「ハンサム」 1 2 3 4 5
7. "What toe never gets a corn?" "Mistletoe."「まめのできない足指は」「やどりぎ」 1 2 3 4 5
8. "What room has no walls, floor, ceiling, or windows?" "A mushroom."「壁も床も天井も窓もない部屋は」「きのこ」 1 2 3 4 5
9. "What table has no legs at all?" "A timetable."「脚が1本もないテーブルは」「時刻表」 1 2 3 4 5
10. "What nut has no shell?" "A doughnut."「殻のないナッツは」「ドーナツ」 1 2 3 4 5
11. "What is the only thing harder than a diamond?" "Making the payments on it."「ダイヤモンドより唯一 hard なのは」「その支払いをすること」 1 2 3 4 5
12. "What stays hot even if you put it in a refrigerator?" "Pepper."「冷蔵庫に入れても hot のままのものは」「こしょう」 1 2 3 4 5
13. "Which is the left side of a pudding?" "The side that is not eaten."「プリンの left 側は」「食べてない側」 1 2 3 4 5
14. "Why is an airplane like a deadly poison?" "One drop is sure to kill."「飛行機が猛毒に似ているのは」「drop 1つで死ぬから」 1 2 3 4 5
15. "Why is a book like a hotel?" "Because it has many pages."「本がホテルに似ているのは」「page が多いから」 1 2 3 4 5
16. "Why didn't the skeleton go to the ball?" "Because he had no body to go with."「骸骨が舞踏会に行かなかったのは」「連れていく体がなかったから」 1 2 3 4 5
17. "What would a country be called if all the people in that country owned pink cars?" "A pink car nation."「国民全員がピンク色の自動車を所有している国の呼び方は」「ピンク色の自動車国家」 1 2 3 4 5
18. "What flower is in the face?" "Two lips."「顔の中にある花は」「上下二枚のくちびる」 1 2 3 4 5
19. "Why are fishermen so stingy?" "Because their business makes them sell fish."「漁師があんなにけちなのは」「彼らの仕事が魚を売ることだから」 1 2 3 4 5
20. "Why should no man starve on the deserts?" "Because of the sand which is there."「砂漠でだれも飢え死にしないのは」「そこにある砂のおかげ」 1 2 3 4 5
21. "Who gets the sack every time he goes to work?" "The postman."

「仕事にいくたび首になる人は」「郵便集配人」　1 2 3 4 5

22. "When are mice and rats unhappy?" "When it's raining cats and dogs." 「ハツカネズミやドブネズミが楽しくないときは」「雨がザーザー降っているとき」　1 2 3 4 5

23. "Why is a bald man always cheerful?" "Nothing gets in his hair." 「はげ頭の人がいつも陽気なのは」「気をもむことがないから」　1 2 3 4 5

24. "What kind of clothing lasts the longest?" "Underwear. It is never worn out." 「1番長持ちする種類の服は」「下着。決して擦り切れないから」　1 2 3 4 5

25. "What is the quietest game played?" "Bowling — you can hear a pin drop." 「1番静かなゲームは」「ボーリング。ピンの落ちる音さえ聞こえるから」　1 2 3 4 5

26. "What does a man do standing up, a woman sitting down, and a dog on three legs?" "Shake hands." 「男は立って、女は座って、犬は三本足ですることは」「握手」　1 2 3 4 5

27. "Why are a giant's fingers always eleven inches long?" "If they were an inch longer each would be a foot." 「巨人の指がいつも11インチなのは」「もう1インチ長いと足になってしまうから」　1 2 3 4 5

28. "Why did they bury Washington on a hill?" "Because he was dead." 「ワシントンを丘に埋めたのは」「死んでしまったから」　1 2 3 4 5

29. "Why does the Statue of Liberty stand in New York harbor?" "Because she can't sit down." 「自由の女神がニューヨーク湾に立っているのは」「座れないから」　1 2 3 4 5

30. "What question can never be answered 'yes'?" "'Are you asleep?'" 「絶対『はい』と答えられない質問は」「『あなた眠っているの』」　1 2 3 4 5

［追記］大学生のアンケート調査については、大阪大学の河上誓作先生にお世話になりました。また、英米人のアンケート調査については四天王寺国際仏教大学の山崎英一先生と松蔭女子学院大学の濱本秀樹先生、高校生のアンケート調査については甲南女子高校の藤田三奈子先生にお世話になりました。ここに謝意を記します。